



2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月2日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2406 URL <http://www.arte-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石山 一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 一
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	3,888	7.0	196	15.4	200	27.1	82	68.6
2017年12月期第2四半期	3,635	2.4	170	43.7	157	10.5	48	57.9

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 82百万円 (69.3%) 2017年12月期第2四半期 48百万円 (59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	8.21	—
2017年12月期第2四半期	4.86	—

(注) 当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	8,022	2,571	32.1
2017年12月期	8,025	2,580	32.1

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 2,571百万円 2017年12月期 2,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2018年12月期	—	0.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(注3) 2018年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 0円50銭

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	3.7	550	5.2	550	7.6	270	8.3	27.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	10,660,000株	2017年12月期	10,660,000株
② 期末自己株式数	2018年12月期2Q	719,686株	2017年12月期	649,686株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	9,987,109株	2017年12月期2Q	10,010,314株

(注) 当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年8月9日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日~2018年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しております。

一方、世界経済についても緩やかに回復しているものの、中国を始めとするアジア新興国等の先行きや政策に関する不確実性による影響、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響等に留意が必要な状況にあります。

国内の美容業界におきましては、人口減少と少子高齢化の進展、新卒美容師の減少、小規模サロンの後継者不足など、厳しい状況にあります。一方で、低料金サロンの定着やSNSの普及に伴う集客方法の多様化、美容意識の向上に伴う専門ニーズの高まりなどの傾向が見られます。また、選別消費の進展によるデザイン系サロンとメンテナンス系サロンの両極化や美容関連企業の新規上場、M&Aなど、様々な動きが出てきており、美容室チェーン間の競争は特に激しさを増してきております。

このような状況のなか、当社グループは、高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に複数のブランドを展開し、多様な顧客ニーズに応じております。特に、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景に、エコノミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの出店を加速しております。当社グループは、これらのブランドごとに経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

デザイン系サロンの新規顧客来店施策として、インターネットでの新しい集客ツールの活用やSNSを利用したスタイリストの美容情報の発信強化を図っております。また、ホームページでは、サロンごとに工夫されたコラムの作成やスタッフ紹介など、その魅力を高め、閲覧数・閲覧時間の増加を図るとともに、Web予約システムによる集客強化に注力しております。

単価アップ並びに固定顧客増加の施策として、縮毛矯正やワンランクアップのつや感を演出するイルミナカラーの強化、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力強化を順次進めております。

また、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」が運営するChoki Petaは、集客力の高い生活密着型商業施設を中心に店舗し、カットとカラーのシンプルなサービスを基本に、サロン内の作業を自動受付機やオートシャンプー機などのロボット化により省力化し、パートタイマー美容師を積極的に活用しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ「以下、Ash」が前年同期比103.0%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」が同103.6%、SDの外部加盟型フランチャイズが同97.5%、Choki Petaが同141.6%となっております。また、当社主要子会社の入客数は、同105.8%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、8,590百万円(同103.3%)となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、298店舗(Ash125店舗、NYNY34店舗、SD128店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ11店舗)となります。

なお、SDが展開する首都圏のChoki Petaの店舗数は、直営店33店舗、FC店1店舗の合計34店舗(前年同期比11店舗増加)、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、7店舗(同1店舗増加)となっております。また、グループにおけるFC店舗数は、215店舗(Ash105店舗、NYNY15店舗、SD95店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,888百万円(前年同期比107.0%)、営業利益は196百万円(同115.4%)、経常利益は200百万円(同127.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円(同168.6%)となりました。

なお、当社グループ店舗数は、連結子会社店舗数298店舗のほか、株式会社シーエフジェイの国内店舗数5店舗(COIFFIRST銀座店は、Ashの店舗数に含めております。)、海外店舗数2店舗(シンガポール共和国・中華人民共和国各1店舗)を含め305店舗となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、301百万円減少して2,840百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少154百万円、売掛金の減少93百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、298百万円増加して5,181百万円となりました。

これは主として、新規出店、移転等による建物(純額)の増加191百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加64百万円、敷金及び保証金の増加39百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、2百万円減少して8,022百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、216百万円減少して2,363百万円となりました。

これは主として、買掛金の減少36百万円、未払金の減少168百万円、未払法人税等の減少12百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、221百万円増加して3,087百万円となりました。

これは主として、長期借入金の増加220百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5百万円増加して5,450百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、8百万円減少して2,571百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円の計上に対して、配当金支出50百万円、自己株式の取得40百万円があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.1%と同様の結果となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、1,533百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は278百万円(前年同四半期は50百万円の収入)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益143百万円、減価償却費229百万円、未払金の減少額168百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は539百万円(前年同四半期は398百万円の支出)となりました。

これは主として、新規出店、移転等に伴う有形固定資産の取得による支出372百万円、敷金及び保証金の差入による支出64百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は106百万円(前年同四半期は84百万円の収入)となりました。

これは主として、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出298百万円、配当金の支払額50百万円、自己株式の取得による支出40百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年2月7日に公表いたしました第2四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年6月30日)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2018年8月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,687,870	1,533,276
売掛金	539,583	445,874
商品	84,851	78,910
貯蔵品	31,655	25,972
その他	800,484	758,372
貸倒引当金	△2,198	△1,424
流動資産合計	3,142,246	2,840,982
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,670,168	5,787,584
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,306,442	△3,232,118
建物(純額)	2,363,725	2,555,465
車両運搬具	18,923	18,923
減価償却累計額	△5,285	△7,409
車両運搬具(純額)	13,637	11,513
工具、器具及び備品	1,074,603	1,156,611
減価償却累計額及び減損損失累計額	△864,002	△881,828
工具、器具及び備品(純額)	210,601	274,782
土地	134,200	134,200
リース資産	18,573	18,573
減価償却累計額	△11,848	△13,770
リース資産(純額)	6,724	4,803
建設仮勘定	5,789	22,979
有形固定資産合計	2,734,679	3,003,745
無形固定資産		
のれん	259,774	234,782
その他	112,860	95,138
無形固定資産合計	372,634	329,921
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,352,510	1,392,233
その他	446,927	484,325
貸倒引当金	△23,770	△28,341
投資その他の資産合計	1,775,667	1,848,217
固定資産合計	4,882,982	5,181,884
資産合計	8,025,228	8,022,867

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,836	64,134
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	495,144	476,372
未払金	1,577,371	1,409,003
未払法人税等	78,705	66,048
賞与引当金	—	9,438
資産除去債務	8,935	4,062
その他	168,720	184,490
流動負債合計	2,579,712	2,363,549
固定負債		
長期借入金	2,033,617	2,253,941
退職給付に係る負債	94,185	77,156
資産除去債務	518,520	527,927
その他	219,118	228,398
固定負債合計	2,865,440	3,087,423
負債合計	5,445,152	5,450,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,534,722	1,566,682
自己株式	△139,825	△180,355
株主資本合計	2,579,548	2,570,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527	915
その他の包括利益累計額合計	527	915
純資産合計	2,580,075	2,571,894
負債純資産合計	8,025,228	8,022,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	3,635,945	3,888,825
売上原価	2,595,902	2,761,083
売上総利益	1,040,042	1,127,741
販売費及び一般管理費	869,917	931,444
営業利益	170,125	196,297
営業外収益		
受取利息	1,449	1,309
受取手数料	4,765	5,632
助成金収入	1,860	6,476
その他	10,941	3,768
営業外収益合計	19,016	17,187
営業外費用		
支払利息	7,966	7,530
貸倒引当金繰入額	12,339	3,796
その他	11,115	1,742
営業外費用合計	31,421	13,069
経常利益	157,720	200,415
特別利益		
固定資産売却益	199	608
資産除去債務戻入益	—	315
特別利益合計	199	924
特別損失		
固定資産売却損	991	—
投資有価証券評価損	—	23,699
固定資産除却損	9,919	3,496
店舗閉鎖損失	10,621	7,108
減損損失	29,642	15,292
資産除去債務履行差額	18,245	8,454
特別損失合計	69,420	58,050
税金等調整前四半期純利益	88,499	143,289
法人税、住民税及び事業税	24,839	67,430
法人税等調整額	15,023	△6,152
法人税等合計	39,862	61,277
四半期純利益	48,636	82,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,636	82,012

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	48,636	82,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	388
その他の包括利益合計	40	388
四半期包括利益	48,677	82,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,677	82,400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,499	143,289
減価償却費	218,365	229,743
減損損失	29,642	15,292
のれん償却額	32,136	34,091
その他の償却額	3,074	1,862
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	657	△17,028
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,996	3,796
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,891	9,438
受取利息及び受取配当金	△1,469	△1,330
助成金収入	△1,860	△6,476
支払利息	7,966	7,530
為替差損益(△は益)	160	685
有形固定資産売却損益(△は益)	791	△608
受取保険金	△516	△62
有形固定資産除却損	9,919	3,496
店舗閉鎖損失	10,021	7,108
資産除去債務戻入益	—	△315
投資有価証券評価損益(△は益)	—	23,699
売上債権の増減額(△は増加)	36,937	93,708
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,680	11,623
立替金の増減額(△は増加)	115,289	96,302
その他の資産の増減額(△は増加)	31,246	△31,103
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,415	△36,701
未払金の増減額(△は減少)	△353,822	△168,367
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,193	6,396
その他の負債の増減額(△は減少)	△33,417	△67,168
小計	137,223	358,902
利息及び配当金の受取額	1,771	481
利息の支払額	△8,215	△7,750
保険金の受取額	516	62
法人税等の支払額	△82,264	△80,087
助成金の受取額	1,860	6,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,891	278,085

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△423,021	△372,550
有形固定資産の売却による収入	1,969	3,489
無形固定資産の取得による支出	△13,879	△4,937
資産除去債務の履行による支出	△3,456	△6,556
投資有価証券の取得による支出	△75	△76
非連結子会社株式の取得による支出	△10,000	—
のれんの取得による支出	—	△66,000
貸付けによる支出	△10,053	△71,924
貸付金の回収による収入	25,396	51,836
保険積立金の積立による支出	△3,544	△3,426
敷金及び保証金の差入による支出	△40,439	△64,985
敷金及び保証金の回収による収入	70,743	5,736
預り保証金の返還による支出	△9,151	△4,144
預り保証金の受入による収入	18,400	8,553
加盟金等の取得による支出	△1,200	—
会員権の取得による支出	—	△14,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,312	△539,533
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△362,627	△298,448
長期借入れによる収入	500,000	500,000
配当金の支払額	△49,858	△50,917
割賦債務の返済による支出	△1,079	△1,079
リース債務の返済による支出	△2,404	△2,169
自己株式の取得による支出	—	△40,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,030	106,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△263,349	△154,593
現金及び現金同等物の期首残高	1,658,748	1,687,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,395,399	1,533,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。